

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2025.03.15

No.148



J R東日本の企業倫理を糺し 職場に笑顔を取り戻す決起集会

集会アピール

私たち輸送サービス労組八王子地本はオープンイノベーションフィールド多摩国分寺館において「J R東日本の企業倫理を糺し職場に笑顔を取り戻す決起集会」を開催し、J R東日本会社による輸送サービス労組組合員への差別、支配介入や脱退懲罰をはじめとした不当労働行為を許さず、職場に笑顔を取り戻すために、さらに組織拡大を実践していくことを確認した。

「J R東日本八王子支社組合員差別事件（都労委令和5年不第2号事件）」は、立川駅長（当時）が退職を再考していた組合員に対し、面談において『輸送サービス労組への嫌悪感を露わに、利益誘導、脱退懲罰を行った』ことに対し救済申立を行なったものだ。あったことをなかったことにしないため、現在も係争中である。さらに本件では、立川運転区分会組合員（当時）への不当労働行為に対し追加申立を行い、利益誘導、脱退懲罰は、一管理者の問題ではなく、組織的に行われているものと断定し、私たちは経営姿勢を問うてきた。

決意した組合員は「差別やハラスメントを無くしたい」「傍観していたらなかったことになってしまう」「会社ぐるみで組合潰しが行なわれている質を糺したい」「誰もが労働組合に加入しやすい環境にしたい」との決意を持ち、J R東日本会社を真つ当な企業にすべく、勇気をもって前に出たのだ。これまで10回の調査が行なわれてきた。2025年に入り、東京都労働委員会より和解協定書案が示され審議を進めてきたが、その中身には、会社が改めたと感じられるものはなく、私たちは和解できる状況にないと判断し、和解協定の手続きについては中断、今後は審問へと進んでいく。当事者である2名の組合員が審問に立つ。真実を語り、労働組合に対する嫌悪感むき出しの姿勢を改めさせ、健全なJ R東日本会社へと変えていく。

昨今、ビッグモーターやトヨタ自動車、宝塚歌劇団や旧ジャニーズ事務所、フジテレビ等、大企業の企業風土そのものを問うような事態が起きている。間違いなく見て見ぬ振りが行われ、傍観者が事態を大きくしたと言っても過言ではない。このことを対岸の火事として済ませてはならない。フジテレビでは、労働組合への加入が増えたと言われている。雇用や企業の危機が迫ってからは遅いということを、多くの労働者に自覚させる事態だ。今まさに、労働組合の重要性がクローズアップされている。私たち輸送サービス労組は結成から5年を迎えた。組織拡大は道半ばの状況である。労働組合への加入はハードルが高いと感じる未加入者がいる。会社による企業犯罪をなくさない限り、この不安を払拭することはできない。だからこそ、今事件を当該組合員に仕掛けられた攻撃と見るのではなく、組織への攻撃であることを再認識しなければならない。「物言う労働組合潰し」「組合差別」「組合=悪」というJ R東日本会社の姿勢は、世間の負の流れそのものであり「誰かが、」ではなく私たちが糺さなければならない。

新幹線の列車分離や在来線のレール折損等が発生し、鉄道の安全に対し「J R東日本は大丈夫か」と注目を浴びている。まさに、経営そのものが問われていると経営幹部は自覚すべきだ。物言う労働組合として指摘し、係争中の「J R東日本八王子支社組合員差別事件」「J R東日本八王子駅パンフ配布処分事件（中労委令和5年不第17号）」をはじめ、すべての不当労働行為を無くし、健全なJ R東日本会社へ立て直そう。結成から5年「組合員のための労働組合」「あったことをなかったことにしない」ため結成した意義を捉え返し、未加入者と共に輸送サービス労組運動を現場からつくり出そう。苦しむすべての仲間の手を差し伸べ、笑顔あふれる職場を取り戻そう！

以上、アピールする。

2025年3月12日

J R東日本輸送サービス労働組合八王子地方本部

「J R東日本の企業倫理を糺し

職場に笑顔を取り戻す決起集会」

輸送サービス労組運動を現場からつくり出し
苦しむすべての仲間の手を差し伸べ
笑顔あふれる職場を取り戻そう！